

Takara standard

キッチンセット 取扱設置説明書

保証書付

取扱説明書

はじめに

各部の名称	1
安全上のご注意	2
最大収納重量	4

使いかた

使用方法	5
------------	---

お手入れ

お手入れのしかた	9
----------------	---

こんなときは

アフターサービス	10
----------------	----

設置説明書

設置される方へのお願い	11
安全上のご注意	11
設置と扉調整	13
点検口蓋の取付	14
排水工事	14
点検・仕上げ	15
お願い事項	15

保証書	16
-----------	----



お客様へ

このたびは、タカラスタンダード キッチンセットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご了承ください。

ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」については、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

この取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に、大切に保管してください。

保証書に販売店名、お引渡し日などが記入されていることを、必ずお確かめください。

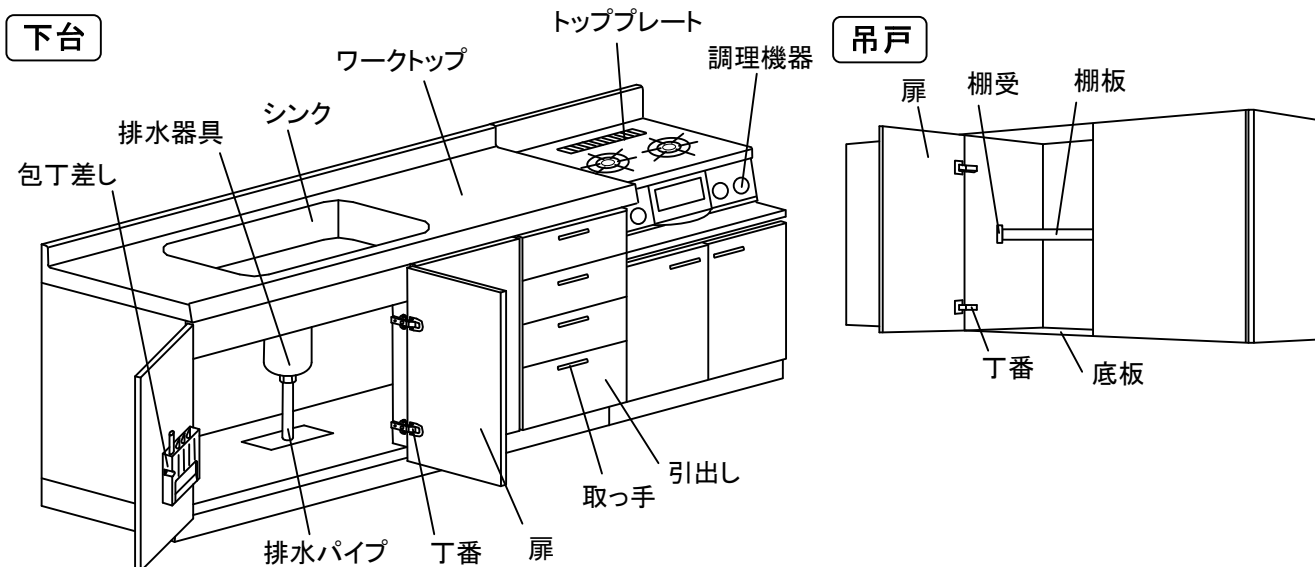
オプション品については、専用の取扱説明書をご覧ください。

設置される方へ

設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

取扱説明書

各部の名称



安全上のご注意

必ずお守りください。

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
- 安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。



このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



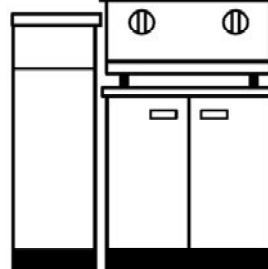
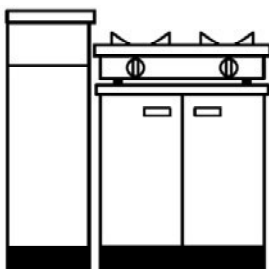
警告

- 流し台(調理台)の天板より低い位置にガステーブル(こんろ)を設置しないでください。



禁止

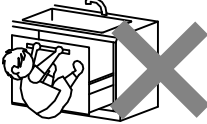
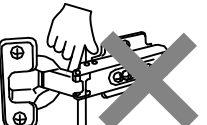
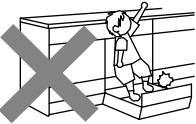

流し台
天板
↓



- 発熱により、火災の原因になることがあります。

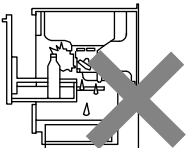


注意

- **絶対に改造・分解・修理をしない**
火災、感電、けがの原因になります。
- **扉・引出し・取っ手にぶら下がらない**
はずれて、ケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。

- **ワークトップの上に乗らない**
変形または落下によるケガの原因になります。
- **扉開閉時に丁寧にさわらない**
丁寧に指をはさんでケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。

- **引出しの上に乗らない**
転倒して、ケガをするおそれがあります。

- **扉・キャビ・引出しに水をかけない**
かかった場合はすぐにふきとる
製品を傷めカビなどが発生するおそれがあります。

- **扉や引出しの隙間に手などをいれない**
ケガをするおそれがあります。
- **てんぷら油や多量の熱湯を直接排水口に流さない**
排水器具などが変形し、水漏れの原因になります。
- **固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤・ぬめり取り剤は使ったり近づけたりしない**
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。
保管の場所や方法に十分注意してください。
その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。
- **排水器具や排水パイプに殺虫剤を吹き付けない**
排水パイプが変形したり、割れたりして水漏れの原因になります。
- **排気口の上に物を絶対に置かない**
異常過熱し、火災の原因になります。
- **加熱機器の使用時や使用直後は加熱機器の周辺に手をふれない**
放射熱などで熱くなり、やけどのおそれがあります。
- **加熱機器に記載されている離隔距離の範囲内に可燃物を置かない**
スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。
- **食品をワークトップやシンクで直接取り扱わない**
衛生的な調理のため、また、製品のキズ劣化防止などのため、まな板、トレー、ボウル、ざる、プレート等の調理器具をお使いください。



禁止

- **引手に体や頭をぶつけないように注意する**
ケガをするおそれがあります。
 - **扉や引出しが傾いたり、ガタついているときは、ネジをしめ直す**
扉や引出しが落ちて、ケガをするおそれがあります。
 - **引出しに収納するものは、背の高さに注意する**
《コンロ下》
収納物がガス栓・配管と接触し、ガス漏れや破損の原因になります。

 - **排水の流れが悪くなったら排水器具や排水パイプにゴミ等が詰まっていないか確認し、取り除く**
知らずに水を出し続けると、シンクから水があふれおそれがあります。
 - **包丁差しの固定ネジがゆるんでガタツキが発生したときは、ネジをしめなおすか、販売店に連絡する**
包丁差しがはずれてケガをするおそれがあります。
 - **組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る**
使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。
●ガスコンロ ●IHクッキングヒーター
●レンジフード ●水栓
 - **最大収納重量を守る**
落下、破損によりケガをするおそれがあります。
 - **棚受けは正しい向きで、確実に奥まで差し込む**
棚板が落下して、ケガをするおそれがあります。
 - **部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかに修理を依頼する**
小さな部品の場合も同様に修理を依頼してください。
そのまま放置していると思わぬ事故(ケガや誤飲)がおこる可能性があります。
- ＜耐震ラッチが取り付けられている場合＞
- **地震の後、最初に扉を開ける時には、収納物が扉にもたれかかっているか確認する**
収納物が落下してケガをするおそれがあります。

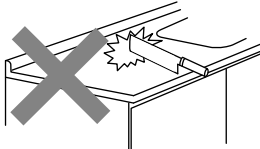


必ず実行

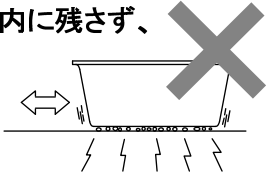
快適にご使用いただくためにお守りください。

- 重いもの、硬いものを落としたり、鍋や食器などを引きずらない
キズやカケ、ひび割れの原因になります。

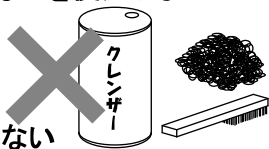
- 直接包丁をつかわない
ワークトップにキズがついたり、包丁の刃のカケの原因になります。



- 石や砂、貝殻などはシンク内に残さず、洗い流してから使用する
キズの原因になります。

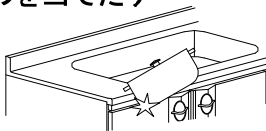


- 金属タワシ、粉末クレンザーなどを使用しない
キズの原因になります。



- 研磨剤入りスポンジを使用しない
キズの原因になります。

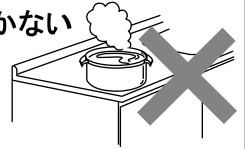
- キャビネット・ワークトップ・カウンター・キッチンパネル等に硬いもの、鋭利なものを当てたり落としたりしない
傷、カケ等が発生するおそれがあります。



- 下記のものをキャビネット内に保管しない
固形または粉末状の洗浄剤・ぬめりとり剤・漂白剤
水や湿気に反応して発生するガスが、金属やゴムの腐食・劣化・サビの原因になります。保管場所や方法に十分注意してください。
その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んで保管ください。

- しょうゆや味噌などの塩分の強いものを放置しない
サビの原因になります。

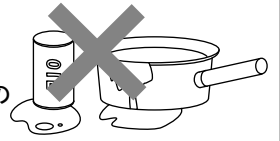
- 熱いフライパンや鍋を直接置かない
修理不可能な損傷が発生するおそれがあります。
必ず鍋敷きをご使用ください。



- ぬれた包丁や缶類などの鉄製のものを長時間放置しない
ステンレスのサビや人造大理石の変色の原因になります。



- 油や煮こぼれ、調理面の水濡れ等を放置しない
ステンレスのサビや人造大理石の変色の原因になります。



- シンナー・ベンジンなどの溶剤、強酸性・強アルカリ性の洗剤、漂白剤は使用しない
製品を傷めるおそれがあります。

- 下記のものがついたらすぐに拭き取る

- 酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤や溶液
 - 酸性の調味料(食酢)
 - 柑橘系飲料水
- 劣化・変色し、製品を傷めるおそれがあります。

- 調理をする際、キッチンパネルに鍋やフライパン、炎を直接当てない

キッチンパネルが変形するおそれがあります。

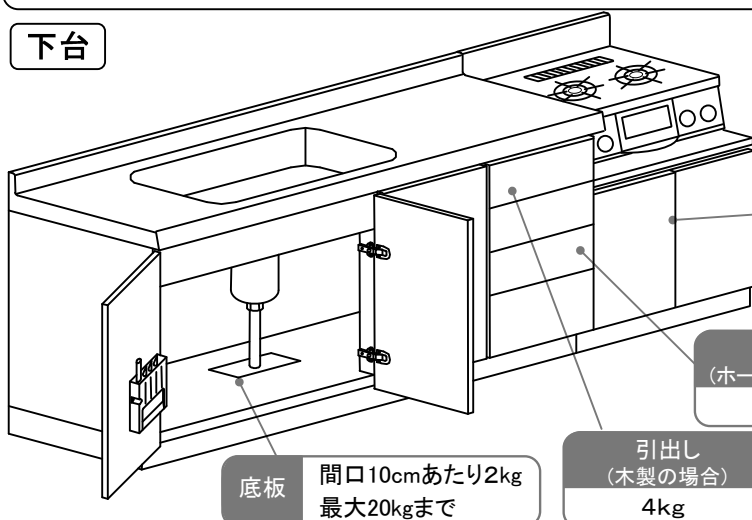
- 扉、引出しを開いた状態で強い力をかけない
丁番、レール等に損傷が発生し、扉の開閉および引出しの出し入れに支障をきたすおそれがあります。

最大収納重量

ご使用上のお願い

- 引出しや棚板には過度に重いものを収納しない
引出し、棚板が破損や変形するおそれがあります。
- 収納物は均等に載せる
引出し、棚板が破損や変形するおそれがあります。
引出しの場合、スムーズに開閉できなくなるおそれもあります。

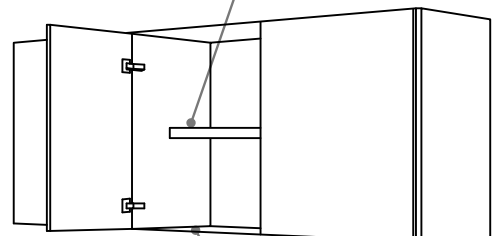
下台



吊戸

※例:60cmなら12kg以下

棚板 間口10cmあたり2kg



使用方法

排水口

⚠ 注意

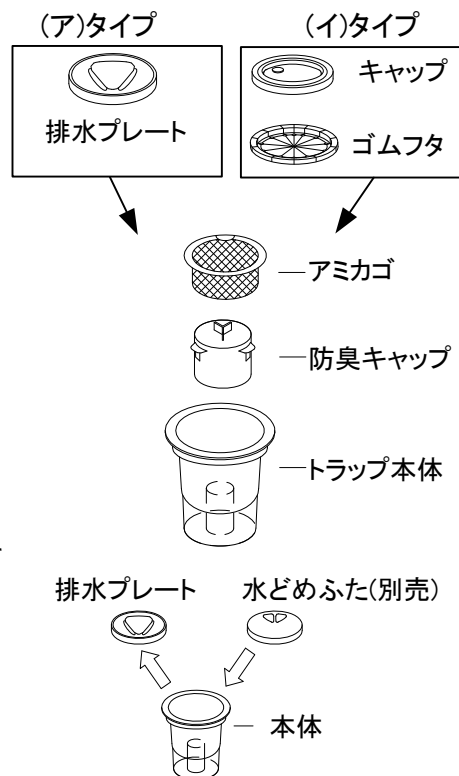
固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤・ぬめり取り剤は使ったり近づけたりしない
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。また、
金属性アミカゴのサビ発生の原因となる場合があります。保管の場所や方法に十分注意してください。
その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

排水プレートを食器洗い乾燥機に入れたり、長時間熱湯の中につけたりしない
変形するおそれがあります。

排水プレートを裏向けでとりつけない
排水が阻害されるおそれがあります。

※排水器具は、右図の2タイプがあります。

- ①(ア)タイプの場合、食品のクズやカスは排水プレートの穴から直接入れる。
(イ)タイプの場合、食品のクズやカスはキャップを開けて
ゴムフタの上から直接入れる。
- ②クズの処理は、排水プレートもしくはキャップとゴムフタを取り、
アミカゴを取り出して捨てる。
- ③クズを捨てたあとのアミカゴは、中性洗剤で洗う。
- ④防臭キャップは、下水からのニオイをしゃ断するための部品なので、
清掃時以外は必ず装着する。
キャップは左に回すとはずれ、右に回すと固定される。
- ⑤本体底部には防臭用の水が常に溜まっている。この水が凍結した場合は
70~80°C程度の湯で徐々に水を溶かしてから使用する。
- ⑥(ア)タイプの場合でシンク内に水を溜める場合は、排水プレートははずして
別売部品の水どめふたを使用する。



ご注意: 塩素系の[ヌメリ取り剤]・[ヌメリ防止剤]等の薬品は、
シンクや金属製アミカゴのサビ発生の原因となる
場合がありますので、絶対に使用しないでください。

お手入れのしかた

排水口の汚れは放っておくと、いやなニオイや排水のつまりの原因にもなりますので、こまめにお手入れしましょう。

- ①うすめた中性洗剤(台所用)をつけたスポンジで汚れを取る。
- ②細かい部分やアミカゴのアミ部は歯ブラシで磨く。
- ③洗剤を洗い流す。

棚板

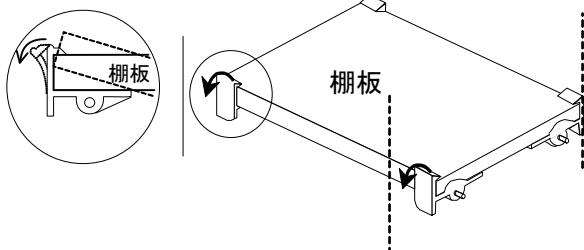
棚板は、お好みの位置に移動可能です。

⚠ 注意

❗ 棚受けは正しい向きで、確実に奥まで差し込む
必ず実行 棚板が落下して、ケガをするおそれがあります。

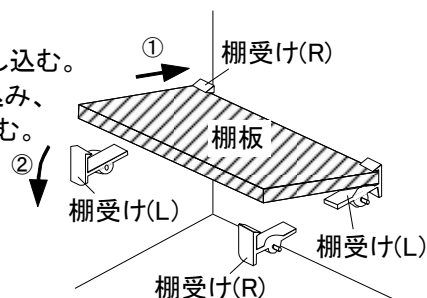
取りはずしかた

前側の棚受け上部に指をかけ、手前にはじく。



取りつけかた

- ①棚受けをしっかりと奥まで差し込む。
- ②奥の棚受けに棚板を差し込み、
前の棚受けに上から押し込む。



扉

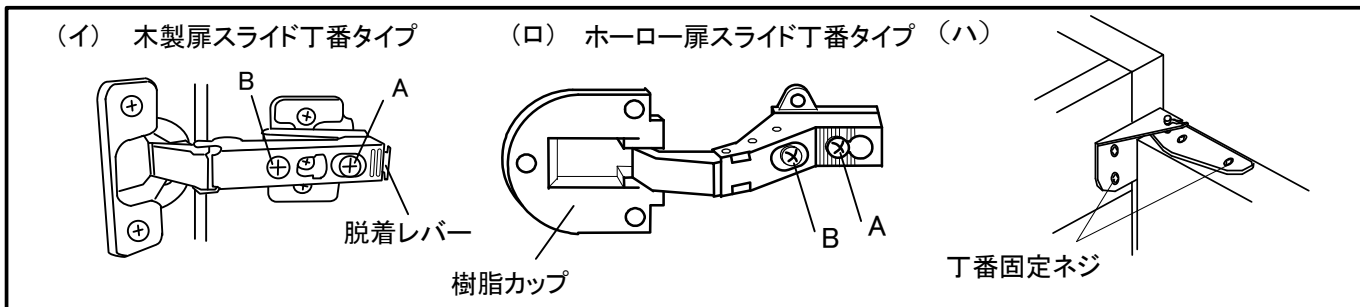
* 調整には+ドライバーが必要です。

ご使用上のお願い

- 扉を開いた状態で強い力をかけない
 丁番等が損傷するおそれがあります。
- 調整部や端部に注意する
 ケガをするおそれがあります。

- 扉を着脱した後は、2~3回開閉して確実に
 取り付けられていることを確認する
 扉が落下し、ケガをするおそれがあります。

扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直し又は調整を行なってください。
 ※丁番には下記のタイプがあります。

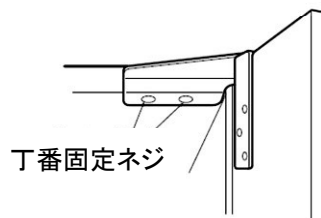


<スライド丁番(イ)(ロ)の場合>

扉の状態	調整のしかた
左右に傾いた 	①「B」のネジをまわして左右を調整する。 ②「A」のネジがゆるむので締めなおす。
前後に傾いた 	「A」のネジをゆるめて前後調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。
上下にずれた 	扉についている丁番の「C」のネジをゆるめて上下調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。【(イ)タイプのみ】

<軸丁番(ハ)の場合>

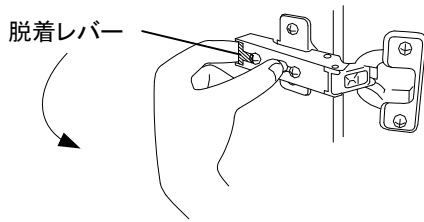
- 扉のガタツキの修正
 扉側または、キャビネット側の丁番固定ネジをしっかり締め込む。



ワンタッチ取付の場合

取りはずしかた

脱着レバーを指で押し上げて、はずす。



ビス固定式の場合

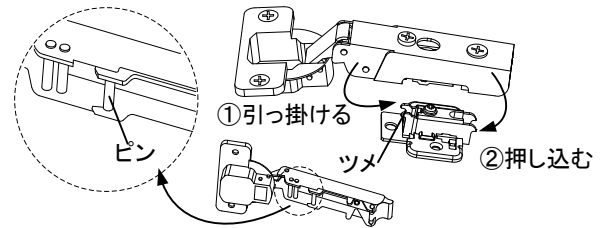
取りはずしかた

①Aのねじをゆるめ、扉を手前にひいて、とりはずす。

※「A」のネジは、緩めるだけで完全にはずさない。

取りつけかた

- ① 丁番本体のピンを丁番プレートのツメに引っ掛ける。
- ② カチッと音がするまで丁番本体を押し込む。



取りつけかた

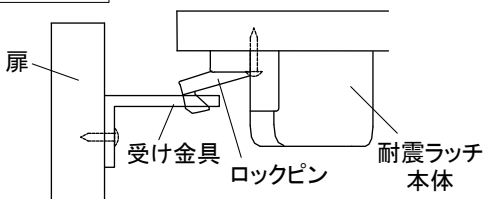
① 取りはずすときと逆の手順で取りつける。

耐震ラッチ(ついている場合のみ)

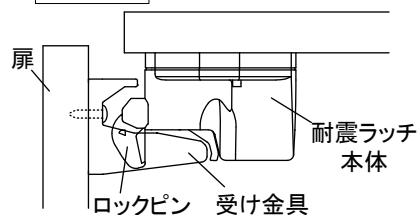
耐震ラッチにはH・Mの2タイプがあります。

- 耐震ラッチは、地震等の揺れが発生し扉が開きかけた時に、ロックがかかって扉が全開するのを防ぎます。(このとき、扉は2～3cm開きます)

Hタイプ



Mタイプ



- 通常使用(扉の開閉)においては、ラッチは作動せずロックはかからない。
- 扉の開閉は、力を入れずにやさしく行う。
- 地震等の揺れで扉がロックした場合は、一度扉を閉め直し、揺れがおさまってから開く。(揺れがおさまるとロックは自動的に解除される。)ただし、キャビネットが傾いた場合はロックが解除されないので、以下の順序でロックを強制解除を行う。

※耐震ラッチは、揺れかたや地質・建物の構造・階数・取付状態により、性能を十分発揮できない場合があります。

解除方法

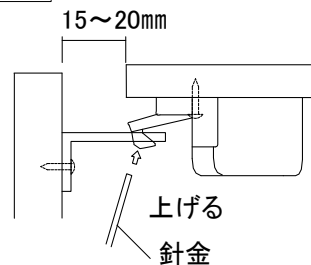
<Hタイプの場合>

- ① 扉の隙間を15～20mmに保つ。
- ② 扉の隙間より針金などの細長いものを差し込む。
- ③ ロックピンを押し上げながら扉を開ける。

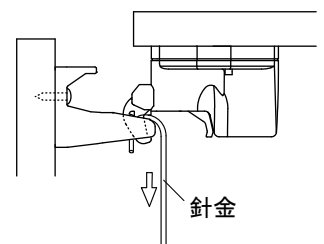
<Mタイプの場合>

- ① 扉の隙間より針金を曲げたものなどを差し込み、受け金具にひっかける。
- ② 一度扉を閉じる。
- ③ 針金を下方に引きながら扉を開ける。

Hタイプ



Mタイプ



※強制解除後の耐震ラッチは必ず新しいものと交換する。

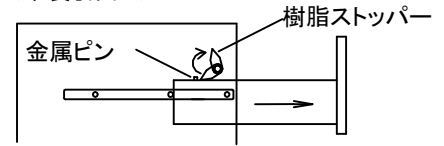
引出し

<木製引出しタイプの場合>

取りはずしかた

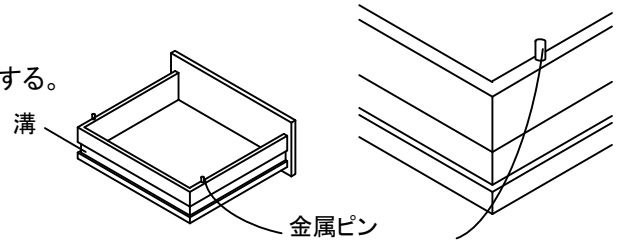
引出しを半分ほど引き出し、ストッパーを右図のように回転させた状態で引き抜く。

<木製引出し>



取り付けかた

引出しの溝をレールにすべり込ませる。取付け後は、1度引出しをゆっくりと開けて、樹脂ストッパーが金属ピンに確実にかかっていることを確認する。

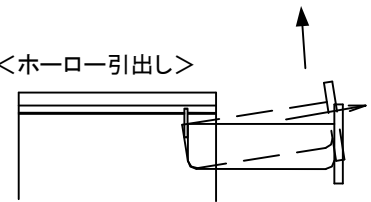


<ホーロー引出しタイプの場合>

取りはずしかた

引出しをいっぱい引き出し、上へ持ち上げながら引き抜く。

<ホーロー引出し>



包丁差し

収納できる包丁の本数・大きさ

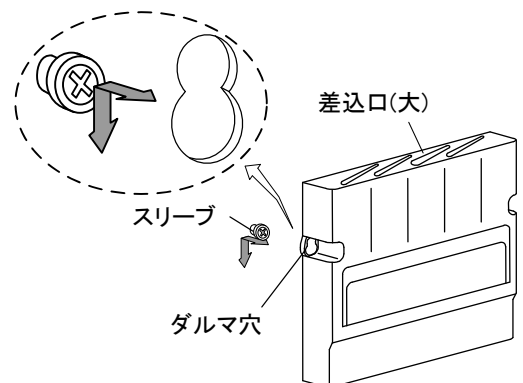
収納場所	収納本数	刃の長さ	刃の幅	刃の厚み	柄の長さ
差込口(大)	1本	230mm	63mm	7mm	140mm
差込口(中)	3本		55mm	5mm	

取りはずしかた

両サイドのダルマ穴をスリーブで引っかけているため、上へ引き上げるとはずれる。

取り付けかた

両サイドのダルマ穴をスリーブに差し込んで、“カチッ”と音が鳴るまで押し下げる。



お手入れのしかた

扉

日常のお手入れ

固くしぼった布で、水滴や汚れをふき取る。

汚れてしまったら

●ホーロー製キャビネット、扉、キッチンパネル、プラスチック製部品の場合

水または温水を浸した布でふく。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきしてから最後に乾いた布で水分をふき取る。

●木製キャビネット、扉の場合

うすめた中性洗剤(台所用)をつけた布またはスポンジで汚れを取り、水ぶきして洗剤を完全にふき取る。最後に乾いた布で水分をふき取る。

ワークトップ・シンク

日常のお手入れ

ワークトップは使い終わったら、固くしぼった布で水滴や汚れをふき取る。シンクも使い終わったら、周りについた洗剤などを洗い流し、水滴をしっかりとふき取る。

汚れてしまったら

うすめた中性洗剤(台所用)をつけた布またはスポンジで汚れを取り、水ぶきして洗剤を完全にふき取る。最後に乾いた布で水分をふき取る。

※水に浸してから歯ブラシなどでこすると、より効果的です。



<落ちにくい汚れ・水あか・キズやサビが付いた場合>

①柔らかい布またはスポンジに、粒子の細かいクリームクレンザー(液体)をつけて磨く。

※布またはスポンジにラップを巻いて磨くと、より効果的です。

②水拭きしてクリームクレンザーを完全にふき取り、乾いた布で水分を完全にふき取る。

※粒子の細かいクリームクレンザー(液体)で強く磨くと、光沢が変わるおそれがあります。少しずつ様子をみながらおこないましょう。

こんなときは

アフターサービスをお申し付けになる前に、つぎの点をお調べください。

排水の流れが悪い。	アミカゴや本体のゴミつまり	アミカゴや防臭キャップをはずし、掃除してください。
	排水パイプのつまり	排水パイプ用洗剤を使用してパイプの掃除をしてください。
	排水器具の本体底部凍結	70～80℃程度の湯で徐々に溶かしてください。
排水口から音がする		流れる水の量が多いと、空気を巻き込んで音がすることがあります。異常ではありません。
水漏れがする		水が漏れている箇所を確認の上、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のフリーダイヤルへご連絡ください。
扉・引手ががたつく	固定ネジのゆるみ等	ネジを閉めなおしてください。
引出しが閉まらない	収納物のひっかかり等	収納物が引っ掛らないよう収納し直してから閉めてください。それでも閉まりきらない場合は一度引出しを全開してから閉めてください。

以上をご確認の上、不具合があった場合は、お買い上げの販売店または「タカラスタンダード アフターサービス受付窓口(フリーダイヤル:0120-557-910)」へご連絡ください。また、お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をお客様サポートサイトに掲載していますので、こちらをご覧ください。(http://www.takara-standard.co.jp/support/index.html)

アフターサービス

タカラスタンダード製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記WEBサイトまたはフリーダイヤルよりご連絡ください。

WEB

【タカラスタンダードお客さまサポートサイト】



<http://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

お電話



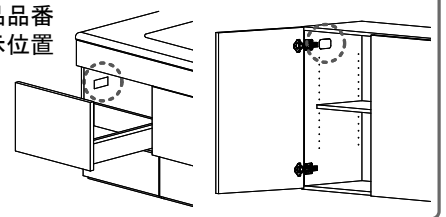
0120-557-910

※PHS・携帯電話・IP電話等で、一部通話ができない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品品番(規格品のみ、キャビネット内側面に表示)
- (2) 症状
- (3) ご購入年月日
- (4) お名前・ご住所・お電話番号

製品品番
表示位置



【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

■インターネットでの修理のご依頼、消耗品・小物のご注文も可能です。

タカラスタンダード お客さまサポートサイト <http://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

〈修理のご依頼〉

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。
修理のご依頼を受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

〈お客さまサポートサイト〉



〈よくあるご質問〉

お客さまよりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。
修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

〈消耗品・小物のご注文〉

主な消耗品・交換部品や小物はインターネットでもご購入できます。

〈掲載品目〉

- ・整水器(浄水器)カートリッジ ・シンク小物(水止めフタ、アミカゴ)
- ・ガス器具部品(ごとく、汁受皿、バーナキャップ、操作ツマミ) ・レンジフード部品(グリスフィルター) など

※一部、取扱いのない商品もございます。フリーダイヤル(0120-557-910)まで お問い合わせ願います。

※お客さまの個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。
詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

設置説明書

設置される方へのお願い

この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。

設置後は、本説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失せぬようおさめておいてください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

- 設置作業前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った設置をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。



禁止

このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行

このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

設置終了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。



警告



必ず実行

電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行う接続や固定が不完全な場合、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

キッチンパネルを取付ける下地については、火災予防条例にしたがい、有効な防火性能を有する仕上げであることを、必ず確認する

下地処理が不十分な場合、火災の原因になることがあります。

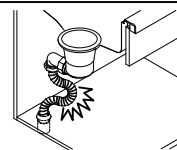


注意



禁止

排水ホースは、U字型に曲げたり折り曲げて取り付けない
排水能力が低下して、シンクから水があふれ床を汚すおそれがあります。



排水器具・排水ホースの取付け及び接続部分のシールは確実に
取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり、床などが傷むおそれがあります。

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認する
扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。



必ず実行

キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置する
設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

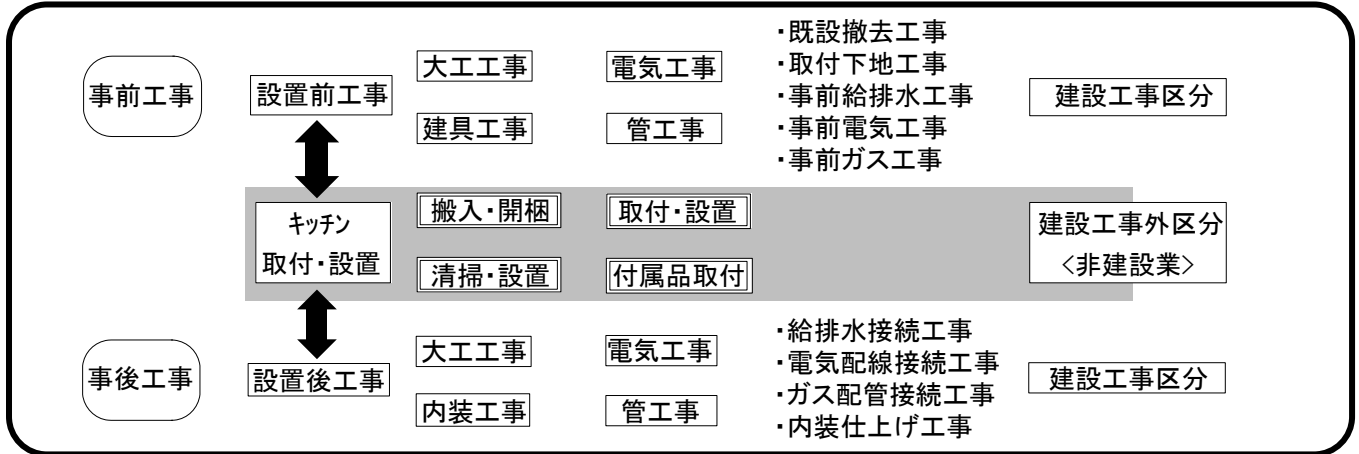
棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込む
棚板が落下して、ケガをするおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意指示に従って正しく使う

誤った使い方をすると、人体に影響がでたり使用部材の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。

基本工事区分について

- 本説明書は、キッチンの本体組立・設置と関連工事（建設工事）である 大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）などと区別して説明しています。
- 建設工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
- 流通業者様からの発注で下請けとして本体の「取付・設置」を行う場合は、建設工事部分とキッチン本体「取付・設置」を区分して行ってください。
- 設置前工事、設置後工事の一部でも含む場合は、建設工事となります。



■キッチン 工事区分

参考:キッチン・バス工業会『工事区分ガイドライン』

工事区分	部位(図)	業種区分	作業名称(区分)	建設工事		建設工事外		作業内容	
				大工工事	管工事	電気工事	設備設置		ガス機器
設置前工事	1 3	大工管	外壁の開口工事	○	○			レンジフードのダクト用の建築壁の穴あけ工事	
			建築壁の下地処理工事	○				ウォールキャビネット等の取付のための下地処理工事	
			幕板取付壁下地処理工事	○				天井・壁等の幕板等取付のための下地処理工事	
			アンカー、吊ボルト工事	○				吊戸棚、レンジフード等のアンカー、吊ボルト工事	
			換気機器用ダクトの関連工事		○	○		建築物の事前ダクト配管等の工事	
			キッチンパネル下地処理工事	○				キッチンパネルを貼るための建築壁の下地処理工事	
	2 4 5	電気 ガス 管	レンジフードの電気工事			○		建築の屋内配線と配線器具(コンセント)工事	
			IH調理機器の電気工事			○		IH調理機器専用の200Vの事前電気工事	
			ウォールキャビネット部分の電気工事			○		照明器具等の電気工事	
			ガス調理機器のガス配管工事		○			ガス調理機器用の事前ガス配管工事	
			排水配管の立上げ工事		○		キッチン排水用の所定位置への排水配管立上げ工事		
			給水・給湯配管の立上げ工事		○		キッチン専用の所定位置への給水給湯配管立上げ工事		
本体取付・設置	システムキッチン	建設工事外区分	キッチンパネルの取付 【注記 1】				□	製品を加工して建築下地へ取付	
			製品間のシリコン充填 【注記 2】					□	製品間の隙間を仕上げる処理作業
			レンジフードの取付 【注記 1】					□	本体及び化粧パネルを取付ける作業
			ウォールキャビネットの取付					□	ウォールキャビネットを取付ける作業
			ベースキャビネット・ワークトップの取付					□	ベースキャビネット・ワークトップの組立・調整して設置する作業
			排水部品の組立 【注記 3】				□	□	排水部品とシンクの組立
			水栓類の組立・ワークトップへの取付 【注記 1】					□	水栓、浄水器同梱部材の組立(ワークトップへの取付)
			ビルトイン機器の取付 【注記 1】					□	ビルトイン機器のキッチン本体への組込作業
			試運転・完成検査 【注記 4】					□	完成後の試運転、性能確認検査
設置後工事	2 3 4 5	電気 管 ガス 管	ウォールキャビネット照明器具工事			○		事前配線の電源線と照明器具の接続、検査	
			電気配線器具の取付			○		スイッチ、コンセント等の電気配線工事	
			レンジフードとダクト接続工事		○			建築ダクトとレンジフードの接続、検査	
			その他電子機器の工事			○		電気機器と電源線、アースの接続工事	
			ガス調理機器のガス配管接続工事				□	ガス調理機器のガス栓との接続工事(資格要)	
			給水・給湯配管と水栓の接続工事		○			給水・給湯の一次側と水栓の接続、検査	
			給水・給湯配管とオプション機器の接続工事		○			オプション機器と一次側給排水の接続、検査	
建築側排水配管への接続工事		○			キッチン排水配管と建築側排水配管の接続、検査				

※【注記 1】原則、現場支給製品は支給側で取付実施とする。

※【注記 2】当社製品間のみ実施する場合が多い。但し、現場により打合せにて作業範囲を決定する場合がある。

※【注記 3】給排水配管の仕様や状況により、排水部品の組付作業範囲を打合せにて決定する。

※【注記 4】製品の完成検査、試運転は、工事完成後に行う場合が多い。但し、原則、商品取付完了時に検査、試運転が可能な範囲のみキッチン設置者が実施する。

快適にご使用いただくためにお守りください。

設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをしく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意する
設置作業中、キャビネットや扉にドライバー・金づち等の固いものを当てたり落としたりしないよう十分注意する
汚れを取る場合は水ぶきまたは中性洗剤を使用する。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対に使用しない
表面が侵されるおそれがあります。

設置と扉調整

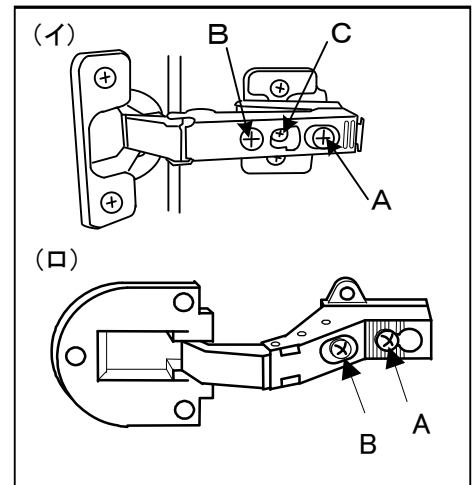
設置前に設置場所に木クズやゴミなどがいないか確認してください。

木クズやゴミ等が製品の下敷になっている場合や床面が凹凸になっている場合は、扉に段違いが発生することがあります。段違いが派生した場合は、下記の点にご注意して調整をお願いいたします。

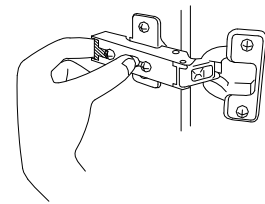
扉の調整

<スライド丁番(イ)(ロ)の場合>

- 扉のガタツキの修正
AとCのネジをしっかりと締め込む。
- 扉の前後方向の調整
Aのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Aのネジを締め込む。
- 扉の左右方向(段違い)の調整
(イ)のタイプは、Bのネジの締め込み代で調整する。
(ロ)のタイプは、Aのネジをゆるめた後、Bのネジの締め込み代で調整し、再度Aのネジを締めこむ。
- 扉の上下方向の調整【(イ)タイプのみ】
Cのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Cのネジを締め込む。
- ワンタッチ丁番付扉の取り外し方
中央の穴を押えた状態で、脱着レバーを押し上げる。

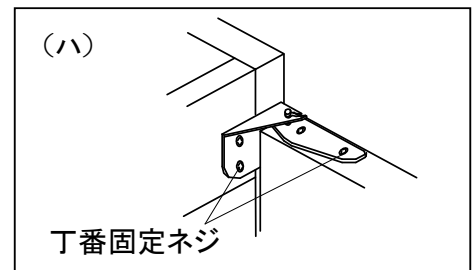


<スライド丁番タイプ>

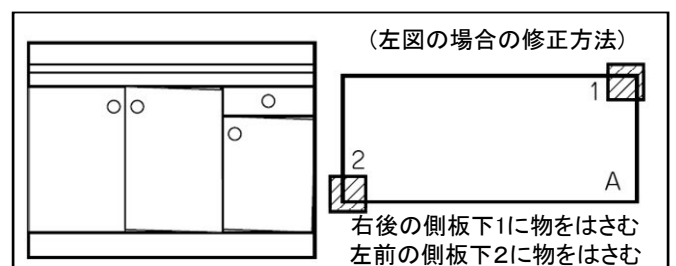
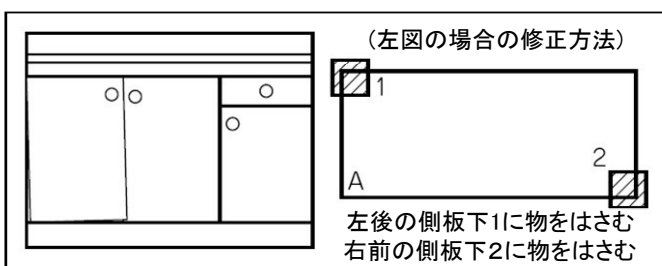


<軸丁番(ハ)の場合>

- 扉のガタツキの修正
扉側または、キャビネット側の丁番固定ネジをしっかりと締め込む。
- 扉の左右方向(段違い)の調整方法
段違いの状態によって下図のように物をはさむ。
はさむ物は薄いプラスチック板、ベニヤ板等を入れる。
次に天板のA位置の角を床にむかって力を加えて、扉の上端が一直線になるように調整する。



<軸丁番タイプ>



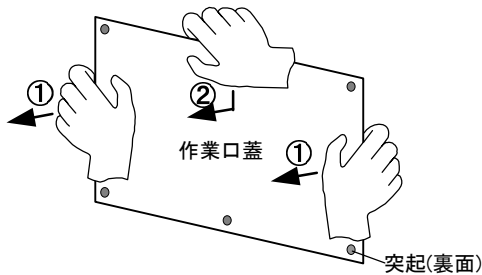
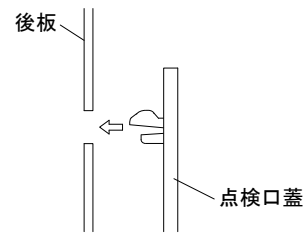
点検口蓋の取付

※点検口付の場合のみ

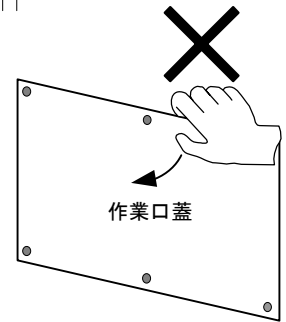
シンクキャビネットの後板に点検口蓋を取付けてください。

点検口蓋をはずす場合は、以下の要領で行ってください。

- ①両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて4隅の突起をはずしてください。
- ②上辺の中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いて点検口蓋をはずしてください。



注) 右図のように指示と異なる部分を持って、無理にはずさないでください。突起が折れるおそれがあります。

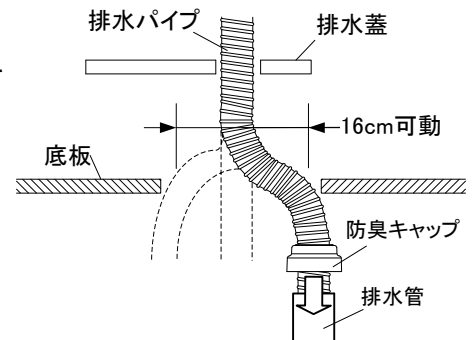


排水管の接続

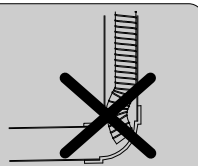
排水管の接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。

防臭キャップは、VP40・VU40・VP50・VU50に対応しています。

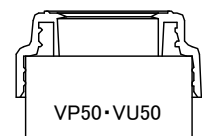
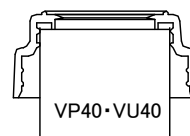
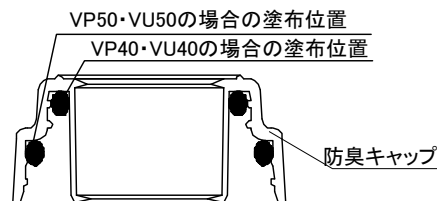
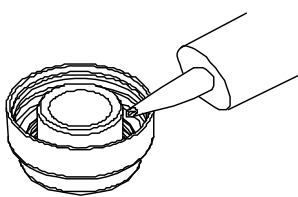
- ①排水パイプを底板排水蓋に通し、防臭キャップを排水パイプに取り付けて排水管の位置確認を行ない、排水の長さを調節してください。長い場合は必ず切断してください。



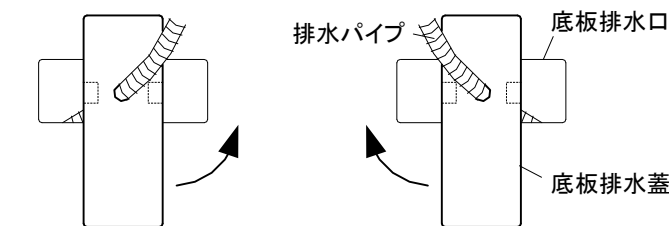
注) 排水パイプを長いまま差し込むと、排水不良の原因になります。



- ②設置時にシール出来るように、防臭キャップ内面全周にシリコン等のコーキング材を塗布してください。
- ③立ち上がっている排水管(塩ビ管)に上から被せてください。

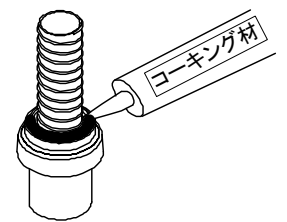
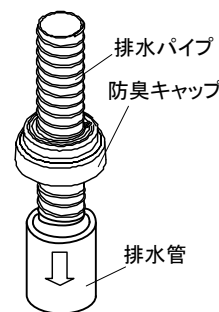


- ④防臭キャップと排水パイプの間をシリコン等でシールしてください。
- ⑤底板排水蓋をキャビネットの底板に取り付けてください。



<排水パイプが右よりの場合>
底板排水蓋を左に回して
固定してください。

<排水パイプが左よりの場合>
底板排水蓋を右に回して
固定してください。



注) 直管配管の場合は、トラップより先は現場手配の部品で接続してください。

仕上げ

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとる。

ご注意:シンナー・ベンジン等の使用は絶対避けてください。商品を守るためおそれがあります。



安全点検および試運転

【1. 安全点検】

①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

【2. 組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従い正常に作動することを確認してください。

お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての設置が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管ください。

【3. 梱包材その他設置部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがい適正な処理をお願いします。

保証書

お客さま	お名前	様	品名	キッチンセット
	ご住所 〒			
	TEL ()			
販売店		印	保証期間	お買い上げ日から 1年間
	TEL ()		お買い上げ日	年 月 日

・本保証書は、当社のキッチンセットで使用する製品及びそれに付帯する部品を対象とします。

・取扱説明書に保証書が添付されている関連商品については、各々の保証書記載内容によります。

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店又はP.10に記載のフリーダイヤルに出張修理をご依頼のうえ、修理の際は、本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店又はお客さま相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 一般家庭以外(例えば車両、船舶への搭載、業務用など)に使用された場合の故障および損傷
 - 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造による故障および損傷
 - 適切な使用、維持管理を行なわなかったことに起因する不具合
(例)・塩素系の洗剤、漂白剤、ぬめり取り剤や温泉水、地下水などの使用によるステンレス製シンクやワークトップなどのさび、腐食
・扉丁番の固定ネジがゆるんだままでの使用による扉はずれ
・給水管・排水管の詰まり
・ユニット、扉、カウンター、シンクなどの汚れ
・温泉水、井戸水などによって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合
 - 第三者によるメンテナンス上などの不備(修理、分解、改造、移動など)に起因する不具合
(例)・ハウスクリーニング業者が指定の洗浄剤以外のクリーニング剤使用によるシンク、天板、扉などの変色や腐食・浄化槽洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食など
 - 指定業者や設置説明書に基づかない設置や当社による設置工事以外に起因する不具合、および当社設置後、入居までの間の管理不備による不具合
 - お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - 建築躯体の変形など対象商品以外の不具合に起因する故障および損傷
 - 塗装の色あせ等の経年変化又は使用に伴う磨耗、コーキングの切れ、さび、カビ、変質、変色その他類似の事由による場合
 - 自然現象や住環境に起因する凍結、結露、音鳴り等の現象およびそれらに起因する損傷
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境および公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する故障や損傷
 - ねずみ、犬、ねこなどの動物や昆虫などに起因する不具合
 - 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
 - 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキン類など)の消耗に起因する不具合
 - 砂やゴミなどの異物流入による不具合
 - 異常電圧、指定外の使用条件(電源、電圧、周波数、水圧など)による故障及び破損
 - 傷など外観の不具合で、引渡し時に申し出がなかったもの
 - 保証書の提示がない場合、保証書にお客さま名、販売店名、お引渡し日の記入のない場合
(領収書などで前記内容がわかる場合はこの限りではありません)、あるいは字句を書換えられた場合
 - 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、すみやかに申し出がなかったもの
 - 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがってこの保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP.10に記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

キッチンセットリ.セコウセツ 2E-20



10154149